

大学名

広島大学(図書館)

第60号テーマ
「大学図書館」

表題

小林角筆資料室の設置

広島大学小林芳規名誉教授が在職中から収集された角筆資料や角筆を浮かび上がらせる角筆スコープ・先生の研究ノート等を収めた資料室を中央図書館に2020年に設置した。資料室には小林名誉教授の名前を冠している。角筆資料は293点943冊に上る。

角筆とは

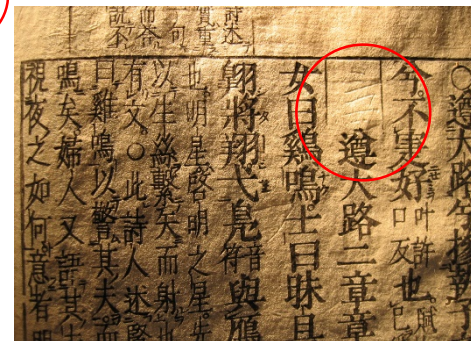
角筆とは、木や竹や象牙の先端を尖らせた筆記具で、紙の面に押し付け、文字や符号や絵を記すために用いられたもの。

角筆資料とは

この角筆を用いて紙をくぼませて描いた字や絵を漢籍から1961年に発見し、その後の調査の結果、国内はもとより中国や韓国でも発見されていて、国内だけでも約3,350点が確認されている。



角筆(小林名誉教授所蔵)



「詩經集註」(広島大学図書館古賀文庫蔵)
寛政三年(1791)再版本。

スライド右から三行目の遵の字の直前の余白に片仮名書きで「シュン」と角筆見える

小林角筆資料室

